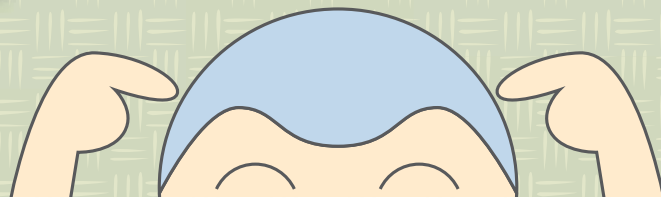


一休かるたと

一休とんちロード



一休さんと京田辺

とんちの一休さんのお寺として知られている酬恩庵(通称、一休寺)は、もとは妙勝寺といい、大応国師によって創建されたのが始まりです。その後、戦火にかかり荒廃していたものを、一休禅師が1456年に再興し、傍らに庵を結び師恩に報いる意味で「酬恩庵」と命名しました。禅師は、88歳で亡くなるまでの晩年、酬恩庵を住まいとしました。そこで、一休寺がある京田辺市は、一休さんゆかりのまちとなっています。

- 一休寺
- 拝観時間/9~17時
 - 拝観料/大人500円、子ども250円
 - 電話/0774-62-0193

一休かるたと一休とんちロード

一休寺までの約600mの道路を「一休とんちロード」として、道中15か所の電柱に「一休かるた」を活用した案内板を設置しています。

案内板には、一休さんにまつわるエピソードやとんち話が描かれており、かるたを通じて一休さんや京田辺市の歴史に触れることができます。

一休かるたとは…

一休さんの88年の生涯の一端を48枚の「かるた」として集約したもので、特定非営利活動法人「一休酬恩会」により、一休禅師生誕600年を記念して製作されました。



もう一足延ばして他の見所へもどうぞ

甘南備山

標高221mで「神が宿る場所」という意味を持つ山。京都・大阪の府境にあり、生駒山脈の支峰となっています。



澤井家住宅

曇華院所領地の代官を務めた澤井氏の住宅。入母屋造で茅葺屋根をL字型に組み合わせた特徴的な建物。



- 公開日時/第2・4土日曜日 10~16時
- 文化財保存協力金 300円 ○電話 0774-62-0146

観音寺

国宝十一面観音立像は、天平文化の華やかさを今に伝える柔らかな表情が特徴。春には参道の桜並木や一面に広がる菜の花が、秋には紅葉がひときわ目を引きまします。

- 拝観時間 9~17時 ○志納料 400円
- 電話 0774-62-0668



寿宝寺

重要文化財である十一面千手千眼観音立像は、平安時代後期の作で、実際に千の手、千の眼があるのは、全国で3体しかないといわれています。

- 拝観時間 9~17時 (前日までに事前予約要)
- 拝観料 300円
- 電話 0774-65-3422



京田辺市の観光案内は

京田辺市観光案内所/京都府京田辺市田辺中央四丁目3-3 京田辺市商工会館1階

電話:0774-68-2810 FAX:0774-68-2817 Email:info@kyotana.be

京田辺市産業振興課/京都府京田辺市田辺80 電話:0774-64-1364

京田辺市観光協会公式ホームページ「京田辺道中記」/http://kyotana.be/

iTours京たなべ(スマートフォンアプリ)/APP STORE・Google playにてダウンロード<ダウンロード無料!>

